

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課	■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	地域教育力向上放課後子ども教室設置事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	090200 - 058	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上	
	■施策	03 学校・家庭・地域が連携した教育の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市地域教育力向上基本計画及び同北上市地域教育力向上行動計画、北上市教育振興基本計画		
■事業の目的と概要	家庭、学校、地域、行政が連携して地域の教育課題に取り組むことにより、子どもを地域総ぐるみで育て、地域の活性化につながるような仕組みを構築する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	地域の教育力向上推進事業	一般市民	3地区(黒沢尻西、飯豊、黒岩)で開催。	3地区(黒沢尻西、飯豊、黒岩)で開催。参加者数(大人・子ども含み)黒西2,284人飯豊350人黒岩784人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	246	224	229	323	
人件費	1,727	1,068	922	838	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,973	1,292	1,151	1,161	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	ボランティアの人数(放課後子ども教室のみ。述べ人数。安全監理員・アドバイザー等)	402人	466人	492人	386人	
02	活動日数(放課後子ども教室のみ)	113日	115日	121日	103日	
03	児童の参加延べ人数(放課後子ども教室のみ)	3,251人	3,488人	3,197人	2,538人	

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

実施地区において、子どもを地域全体で育てていく機運が高まっている。また、地域資源、文化を活用した豊かな体験活動の提供により地域の活性化にもつながってきている。

問題点・課題等

コーディネーターには事前準備等に謝金を支払っているが、活動日は無償となっている。地域の人口減少、高齢化により安全管理員やボランティアの確保が難しくなっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

地域学校協働活動の中に放課後子ども教室の活動も位置付けられることから、事業の一本化も含めて再度放課後子ども教室の在り方を検討し、位置付けの整理を図っていく。併せてコーディネーターの謝金の在り方も検討をする必要がある。安全管理員やボランティアの確保のため、地域と連携していく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了